

福祉サービス第三者評価結果

① 評価機関

| | |
|---------|----------------|
| 評価機関名 | 福祉サービス評価センターさが |
| 訪問調査実施日 | 平成24年10月24日（水） |

② 事業者情報

| | | | |
|-------|--------------------------|-----|--------------|
| 名称 | 特別養護老人ホームめずら荘 | 種別 | 特別養護老人ホーム |
| 所在地 | 〒847-0852 唐津市元旗町816番地217 | | |
| TEL | 0955-73-0988 | FAX | 0955-75-0938 |
| 代表者氏名 | 施設長 吉田英康 | 定員 | 108 名 |
| 設置者 | 業務担当理事 園田孝志 | | |

③ 総評

《特に評価の高い点》

1 医療との連携体制の確立と国際協力への貢献

特別養護老人ホーム「めずら荘」は、済生会唐津病院医療福祉センターを基幹とした福祉総合事業所の核として昭和49年「人の命を大切にしたい自立支援」をコンセプトに設立されたものである。社会福祉法人済生会の歴史は古く、平成23年5月20日には、天皇、皇后両陛下をお招きして創立百周年記念行事が執り行われるなど皇室との関わりも深い。特に先の東日本大震災での医療、福祉分野での支援活動は高く評価される。

その意味で医療、福祉の連携体制の確立は強固なもので、まさに利用者本位の安全、安心の介護サービスを提供している施設である。

また、経済連絡協定（EPA）に基づき、インドネシアの介護職員2名を受け入れるなど国際協力に貢献していることも高く評価される。

2 有効な社会資源の活用

入所者が108名と多く、従来型の特養ではあるが、健康で日常生活が暮らせる個別ケアを徹底的に実施し、利用者の意向や、希望に沿ったサービスを提供している。

特に利用者のリフレッシュのための郊外ドライブでは豊富な唐津地域の社会資源を有効に活用し、外出先を住み慣れた自宅や近郊、唐津城や波戸岬、図書館、美術館など、利用者の希望を取り入れた尊厳と生きがいを加味したものとなっている。中でも、唐津市介護支援ボランティアカードポイント制の受け入れ登録施設となり、10名のボランティアを受け入れるなど地域、家族、施設一体となった福祉サービスを展開していることは地域住民から好評である。

3 日常生活充実のための環境の整備

施設全体でQOLの向上に取り組まれ、各ユニットごとのリーダーのもと医師、看護師、介護福祉士、ケアマネージャー、栄養士等が定期的な環境整備のための委員会を開催し、建設的な意見を交換している。また、適切な終末ケア対応は、家族からの信頼も厚い。

《改善を求められる点》

1 職員の人事管理への取り組み

十分な人事管理は難しい問題ではあるが、職員の士気の高揚とチームワークの醸成も必要不可欠なことである。その意味で、適正な段階を踏んだ人事考課による職員配置、職員のストレス解消やサイレントクレームの吸収などの管理体制の整備を期待したい。

2 多床室への対応

来年度の施設の移転に伴い多床室の問題は解消されると思われるが、現在多床室が多いことから、利用者一人ひとりの落ち着いた生活環境の保持が難しいと思われる。また、利用者の聞き取り調査時に利用者から安眠に対する意見もあったことから、安眠についても更なる配慮に努めていただきたい。

④ 評価結果に対する事業者のコメント

当荘が社会福祉法人^{豊田県}済生会の法人理念に基づき、福祉の充実、発展に寄与してきたことについて高く評価頂いたことは光栄でございます。

今回の第三者評価受審では、職員の士気高揚・意識改革となり、実施できていることの再確認と課題及び改善の方向が明確化でき、さらなる改善への足掛かりとすることが出来ました。

ご指摘頂いた通り、職員の人事・労務等管理体制を整備し、サービス提供基盤を改善することにより、利用者本位のサービスの質向上へより一層努力いたします。また、移転後も法人独自の生活困窮者支援対策、SR活動等により、地域に根付いた福祉サービスの提供を行って参ります。

⑤ 項目別の評価結果

別添のとおり